

笠間芸術の森公園



(表紙写真提供：笠間市)

「笠間芸術の森公園」は、「伝統工芸」と「新しい造形美術」をテーマに、茨城の新しい文化の発信基地として平成4年5月にオープンしました。

総面積54.6haもの広大な敷地には、「茨城県陶芸美術館」をはじめ、様々な屋外イベント会場となる「野外コンサート広場」、陶炎祭^{ひまつり}などが行われる「イベント広場」、ヒノキの森の中に陶造形物が展示されている「陶の杜」、大型遊具が設置された「あそびの杜」などがあり、子どもから大人まで1日中楽しむことができます。

また、今年4月には、「あそびの杜」南側に、国際大会も開催可能なスケート広場「ムラサキパークかさま」がオープンしました。「スケートボード競技」は、2020東京オリンピック競技大会において日本選手団が多くのメダルを獲得し、現在人気急上昇中のスポーツです。ムラサキパークかさまでは、毎週、初心者向けのスケートボード教室（要予約）が開催されています。

そのほか、公園に隣接する施設として、「笠間工芸の丘 CRAFTHILLS KASAMA」や「茨城県立笠間陶芸大学校」があります。笠間工芸の丘 CRAFTHILLS KASAMAは、笠間焼を中心とした地場産業の振興を担うほか、だれもが参加体験でき伝統工芸に触れることができる観光拠点です。展示や工芸用品の販売を行う「センタープラザ」や体験研修工房「ふれあい工房」などがあります。

スポーツと芸術の秋、家族や親しい友人、恋人などと笠間芸術の森公園に訪れ、自然やアートに触れるとともに、陶芸やクラフトアート、スケートボードにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

◀Information▶

- ◆所在地
茨城県笠間市笠間2345
- ◆アクセス方法
 - ・車：北関東自動車道友部ICから国道355号に入り、笠間方面へ約10分
 - ・電車：JR常磐線友部駅またはJR水戸線笠間駅で下車後、かさま観光周遊バスで「工芸の丘・陶芸美術館」下車